

議事概要

1. 日 時
平成23年3月24日（木） 10:00～12:00
2. 場 所
沖縄総合事務局 4階事業審査室
3. 出席者
[委員長]
有住 康則 琉球大学工学部教授
[委員]
北原 秋一 沖縄キリスト教学院大学人文学部特任教授
立原 一憲 琉球大学理学部准教授
原 久夫 琉球大学工学部准教授
前泊 博盛 琉球新報社論説委員長
[沖縄総合事務局開発建設部]
企画調整官 松野 栄明
北部国道事務所長 石垣 弘規
南部国道事務所長 大原 泉
建設行政課長 佐野 俊光
道路建設課長 金城 博
道路管理課長 比嘉 肇

4. 議 題
(1) 防災事業の評価について
(2) 交通安全事業について（報告）

5. 議 事
1) 挨拶
・沖縄総合事務局開発建設部企画調整官

2) 議 題

<委員からの主な意見>

資料－4（防災事業の評価について）

- ・ 東日本大震災により、県民の防災への意識が高まっている。災害時には緊急輸送路が重要であり、その評価手法を確立していく必要がある。
- ・ 防災の観点からも、基本となる国道は、最低4車線としてもよいのではないか。
- ・ 定性的な項目を評価することは一般的に難しいことであるが、出来得る限り客観的に点数化していく検討・工夫が必要である。
- ・ 金額に換算できない定性的な項目も、柔軟に取り込んでいく試みは評価できる。その際、都市部と地方部とで一律に評価することがないように注意が必要である。
- ・ 国道の防災は、ライフライン（命を守る）事業であると明確に標記する必要がある。特に、越波対策などは、道路の背後地の集落も同時に守っており、それについても評価すべきと考える。

資料－5（交通安全事業について）

- ・ 今後、県道などへも、この取り組みを広げることを望む。
- ・ このように、客観的データで示すことは大切なことである。

以上